**UFOを呼んでみよう！！**

近年、UFOについて関心が高まっています。2024年5月28日（火）、日本で政府関係者による会合が開かれ、80名を超える超党派のメンバーからなる調査機関、「安全保障から考える未確認異常現象解明議員連盟」の設立が発表されました。これは、2023年の米海軍による情報公開（『不可解な飛行を行う』と未確認物体に関するパイロットの証言などが公開された）と、それを受けての米議会の調査の延長線上にある動きといえます。また米国防総省では2022年7月に、UAPによってもたらされうる脅威の徹底調査を目的として、「全領域異常解決局（AARO）」を創設しています。

日本政府の対応も、この米国の対応に類似している。空中に浮かぶ不可解な光がどれほどの安全保障上の脅威とみなされているかを示すと同時に、公的機関による調査の必要性を明示するものだ。しかし、そうは言っても真実を明らかにするのは容易ではないでしょう。

日本における古典的なUFO事件の「ビッグ3」として、愛好家たちの間では有名な「甲府事件」は2025年、UFO目撃事件から50周年という節目を迎えます。50年前、山梨県甲府市で、児童2名が空飛ぶ円盤を目撃した後、地上に現れた宇宙人を見たと証言した。いわゆる「甲府事件」です。

今回の青少年事業でUFOを呼ぶという設えは子供たちにとってもロマン溢れるいい思い出となる事だと思います。

今回は能登貞人氏にご協力をしていただきUFOの誘致に挑みます。

呼ぶ方法(打合せ次第反映)

目撃情報多数！！

UFOの目撃情報

　私自身、この2年間の間に3回目撃していて、塩の山上空に浮かぶUFO船団らしき写真の撮影に成功しています。

1回目：2013年3月、四つ石調査の際上空で光り輝くUFOを発見、すぐに消滅する。

2回目：2014年5月、安道寺遺跡調査の帰り、一葉の道を車で下る際に塩の山上空に光り輝くＵＦＯを発見、３０秒程の間にどんどん光を強め一瞬で消滅する。

3回目：2014年10月、塩の山上空に龍雲を多数発見し一瞬光る物が見え、何か怪しい気配を感じ写真を撮影したところ、バリヤーの様な物の中に数機のUFOらしき白い円盤が写っていました。

その他、塩の山上空での目撃例や牧丘からの目撃例、甲府上空から塩山方面に飛び去るUFOの目撃例など多くのお話を聞いてきました。 有名な話では昭和の【甲府事件】と言う小瀬のUFOや宇宙人遭遇事件、最近では五畳岩での【金色お釜型UFO】の映像など、ネットやYoutubeでも多くのUFO目撃証言を得ることができます。

養生庵・ICLhttps://www.fir.gr.jp/yojoan/shionoyama.html塩の山レポート「聖地としての証明」より引用

